

JIS

フ ェ ア リ ー ダ

JIS F 2014-1987

(2006 確認)

昭和 62 年 11 月 14 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：運輸大臣 制定：昭和 32.8.18 改正：昭和 62.11.14

官 報 公 示：昭和 62.11.20

原案作成協力者：財団法人 日本船舶標準協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 船舶部会（部会長 眞田 茂）

この規格についての意見又は質問は、運輸省海上技術安全局技術課（☎ 100 東京都千代田区霞が関 2 丁目 1-3）又は工業技術院標準部機械規格課（☎ 100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

フェアリーダ

F 2014-1987

Fairleads

1. 適用範囲 この規格は、係船に用いるフェアリーダについて規定する。
2. 種類 フェアリーダの種類は、形式、ローラの材料及び個数によって区分し、次の表のとおりとする。

表

種類	形式	ローラの材料及び個数
AF形	オープン形	铸铁製ローラ 2個
AS形	オープン形	鋼板製ローラ 2個
BF形	クローズド形	铸铁製ローラ 2個
BS形	クローズド形	鋼板製ローラ 2個
CF形	オープン形	铸铁製ローラ 3個
CS形	オープン形	鋼板製ローラ 3個
DF形	クローズド形	铸铁製ローラ 3個
DS形	クローズド形	鋼板製ローラ 3個

3. 構造、形状及び寸法 フェアリーダの構造、形状及び寸法は、付図1～4並びに付表1, 3, 5, 7及び付表9のとおりとする。
4. 品質 フェアリーダの品質は、次による。
- (1) 外観 外観は、割れ、使用上有害なきず、さびなどの欠点がなく、仕上げは良好でなければならない。
- (2) 作動 フェアリーダの回転部は、円滑に作動しなければならない。
5. 材料 フェアリーダの材料は、付表2, 4, 6及び付表8のとおりとする。
6. 検査 フェアリーダの検査は、次による。
- (1) 外観検査 外観検査は、目視によって行い、4.(1)の規定に適合しなければならない。
- (2) 作動検査 作動検査は、回転部について行い、4.(2)の規定に適合しなければならない。
7. 製品の呼び方 フェアリーダの呼び方は、製品名称、種類及び呼び径による。ただし、製品名称の代わりに規格番号を用いてもよい。

例：フェアリーダ AF形 150 又は JIS F 2014 AF 150

引用規格：JIS B 0202 管用平行ねじ
 JIS B 0203 管用テーパねじ
 JIS B 1180 六角ボルト
 JIS B 1181 六角ナット
 JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材
 JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材
 JIS G 4303 ステンレス鋼棒
 JIS G 5501 ねずみ铸铁品
 JIS H 3250 銅及び銅合金棒
 JIS H 5111 青銅铸件